

暴力防止ユースプログラム

「チェンジ」とは

思春期の若者たちが、自分と相手を大切にし、尊重しあえる関係の作り方を学ぶためのプログラムです。デートDVの仕組みや、実際に起こりうるケースをロールプレイで体験、暴力の責任は加害者にあることを学びます。

さらに、インターネットやスマートフォン、恋愛など、思春期に陥りやすい「依存」にも焦点をあて、若者たちが自分を大切にすることはどういうことか、自ら考え、学んでいくプログラムや、言葉が持つ影響を知り、自分も相手も大切にできる表現方法を学ぶプログラムもあります。

性暴力やいじめなど、あらゆる暴力防止に資するプログラムも随時揃えていきます。



デートDV防止啓発DVD
「これからの二人」

(Saya-Saya 監修)

都立竹台高校生が作成したオリジナルDVDです。高校生が企画・出演した「ショートドラマ」と実際にデートDV被害を体験した女子高生の「インタビュー」による2部構成です。

ライブラリー価格：10,000円(個)



デートDV防止啓発リーフレット
「デートDVって何?」

暴力的なコミュニケーションの例や、暴力を受けることの影響などがわかります。デートDVのチェックリストや相談先一覧もついています。

価格：30円(部)

<問合せ先>

NPO法人 女性ネット Saya-Saya

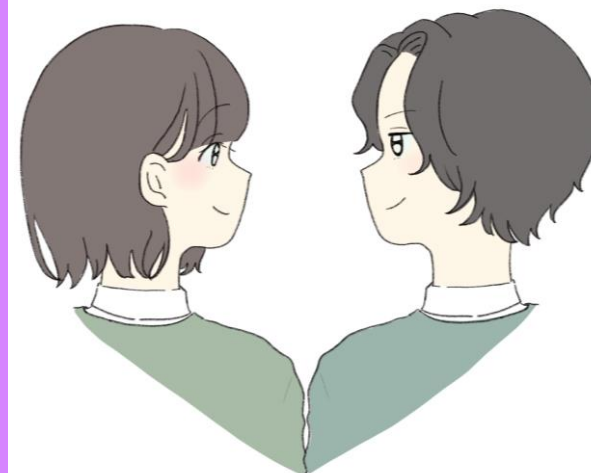
TEL/FAX:03-6807-8442

メール:saya3@sa6.gyao.ne.jp



デートDV、ハラスメント等
暴力防止ユースプログラム

チェンジ



自分と相手を大切にし、
尊重しあえる関係の作り方を
学ぶためのプログラム

NPO法人女性ネット Saya-Saya
<http://saya-saya.net/>

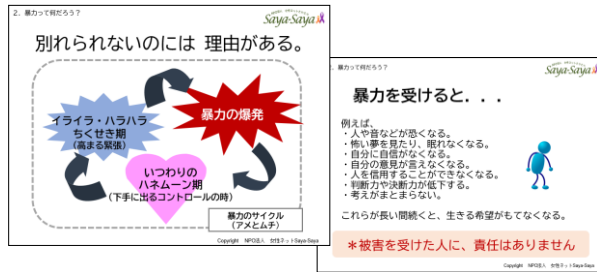
NPO法人 女性ネットさやさや
Saya-Saya

暴力防止ユースプログラム
「チェンジ」には、3種類あります。

- ① デートDV
- ② スマホへの依存
- ③ ことばのチカラ

① デートDV

高校生へのアンケート結果をしてみると、「DVはなんとなく知っていたけど、デートDVがあるなんて初めて知った」という声がよく聞かれます。
デートDVのプログラムは、DVDやロールプレイなどを通して、デートDVの基本を学んでいきます。



付き合う相手ができるとき、
尊重した関係を築いていきたいと思った。

友達や周りにDVがあったら、
見ないふりせず、相談されたら話を聞きたい。
自分もそうになったら相談したいと思う。



—高校生のアンケートより抜粋—

② スマホへの依存

ケータイ・スマホの便利な点・危険な点(いじめ、犯罪)を知り、どう安全に使うかを、ワークなどを通じて考えるプログラムです。また、薬物依存、自傷癖、恋愛依存などについての基本を学び、自分を大切にする方法を考えます。



③ ことばのチカラ

「言葉の持つちから」をテーマにした、暴力的でない対等な関係性を作るためのプログラムです。言葉の中には「人を勇気づける力」もあれば、「人を傷つける力」も持っていることを、具体例を用いて説明します。自分も相手も尊重するコミュニケーション手段である「アサーション」を、ロールプレイを通じて実際に体験してみます。



出張講座のご案内

クラス単位・学年単位・全学年など、各学校の要望に対応いたします。講座時間は40分から2時間まで、相談に応じて行います。講座費用は、応相談です。

これまでの講座実施例

- ◇ 公私立全日制・定時制高校
- ◇ 公立中学校
- ◇ 大学ゼミ
- ◇ 行政職員
- ◇ 教職員(養護教員含む)
- ◇ 児童館に参加している子ども、職員
- ◇ 男女共同参画センター・

生涯学習センター主催の住民向け

- ◇ 児童養護施設・母子生活支援センター

講座受講者数:約 33,600名

(2016年4月~2023年2月現在)

Instagram

殴る・蹴るだけではない
さまざまな暴力について、
対等な関係、暴力のある関係とは
どのような関係か。
漫画やイラストを用いて解説・
発信しています。



@change.instgrm

